

早稲田オープン・イノベーション・エコシステム挑戦的研究プログラム

W-SPRINGシンポジウム

2021年10月、本学は、国立研究開発法人科学技術振興機構が実施する「次世代研究者挑戦的研究プログラム」の支援を受け、**博士後期課程学生のキャリアパス確立と経済的支援**を目的とし、W-SPRINGプログラムの運用を開始しました。

この度、本プログラムの2023年度秋期の学生募集にあたり、本プログラムの概要紹介、博士学生へのメッセージ、博士キャリアに関する情報提供、すでに本プログラムによる支援を受ける博士学生による成果発表等を含むシンポジウムを開催いたします。

2023年 7月 31日 (月)

第一部：10:30-12:10 ハイブリッド開催

- 対象
- ・ 対面@[121号館コマツホール](#)：W-SPRING採択のD2学生・発表学生
 - ・ オンライン（※）：上記以外（日・英同時通訳あり）

※事前登録制（以下URLより要参加登録）

https://w-as-jp.zoom.us/webinar/register/WN_WiqyXDRkRzi50AKyNXXQyA
学生（大学院生・学部生、早稲田大学以外にご所属の方も可）、教職員、一般。
内容にご関心のある方はどなたでも参加いただけます。

第二部：13:00-16:00 対面開催@[121号館コマツホール](#)（日本語のみ）

- 対象 W-SPRING採択のD2学生のみ

プログラム

10:30-10:40 W-SPRINGプログラム概要説明 W-SPRING事業統括 若尾 真治

10:40-11:20 基調講演「博士人材を活かせる日本に
～高度人材の知恵を公益に活かすために国政で取り組んでいること～」
参議院議員 比例代表（全国区）
自民党 科学技術・イノベーション戦略調査会 会長代理
有村 治子

11:20-12:00 プログラム採択学生による成果発表

12:00-12:05 博士キャリアに関する各種情報案内

12:05-12:10 閉会挨拶 W-SPRING副事業統括 菅野 重樹

13:00-16:00 D2学生対象：「リーンスタートアップ」ワークショップ
講師 飯野 将人・山形 啓二郎

第一部

第二部

【問い合わせ先】早稲田オープン・イノベーション・エコシステム挑戦的研究プログラム事務局：wspring@list.waseda.jp

第一部登壇者紹介

参議院議員 比例代表（全国区）選出

自民党 科学技術・イノベーション戦略調査会 会長代理

有村 治子（ありむら はるこ）氏

2001年、参議院選挙 比例代表（全国区）にて初当選、現在4期目。文部科学大臣政務官、参議院環境委員会委員長、自民党政調会長代理等を歴任。安倍内閣にて初入閣、初代女性活躍担当大臣、国務大臣（少子化対策・行政改革・国家公務員制度等担当）に就任。参議院自民党政策審議会長、裁判官弾劾裁判所裁判長を経て、現在は自民党中央政治大学院 学院長、特定秘密を扱う参議院 情報監視審査会 会長、自民党経済安全保障推進本部 副本部長等を務める。

「しっかりとした国家観と地に足のついた生活観を併せ持って、命の重み・家族や地域の絆・国家の尊厳を守る」ことを政治信条としている。鉄道会社に勤める夫と共に、2人の子供を育てている。

日本の国力の基盤となる科学技術力・国際競争力・外交力・防衛力等を高めるため、政治の立場から博士号応援団を自認し、国会質問において博士をとりまくテーマを問題提起し続けている。

国家公務員人事制度等の改革を具体的に訴え、税制改正や給与制度等の目に見える変化を実現する交渉力を発揮。

「博士に社会的敬意を向ける日本」を創り上げるため、各省庁・産業界・学术界・政界・メディア等の各領域で、優秀な博士号取得者の養成・登用・活用を促し続けており、改革に意欲的な各分野リーダーとの率直な対話を重ねている。

2014年、安倍内閣で初代女性活躍担当大臣に就任した際、理工系の女性を応援する政策を、初年度の女性活躍政府重点方針に入れる事を提案し、博士応援と共に、理工系女性の活躍推進もライフワーク。

第二部 講師紹介



飯野 将人 (いの まさと) 氏

日本興業銀行（現みずほ銀行）、米国GEを経て日米複数のスタートアップの立ち上げと経営、起業家としての成功と失敗を経験。2003年から2012年までベンチャーキャピタルのパートナーとしてスタートアップ投資に取り組んだ後、従来暗黙知とされてきたスタートアップ立ち上げの方法論を可視化した「顧客開発モデル」や「リーンスタートアップ」を中心とする講演と実践で実績。2020年、株式会社スケールアウト設立。趣味はヨーロッパサッカーの追っかけと、ヘビメタ（聴く方も弾く方も）。マラソンも嗜むがどうしても4時間が切れない万年オーバー4ランナー。

東京大学法学部卒。米国ハーバード大学経営大学院修了。早稲田大学客員上級研究員（研究院客員教授）
XVC（ベンチャーキャピタル）パートナー、一般社団法人日本エフェクチュエーション協会理事
訳書に『スタートアップ・マニュアル』（翔泳社）、『リーン顧客開発』（オライリー・ジャパン）、『クリーンテック革命』（ファーストプレス）等

山形 啓二郎 (やまがた けいじろう) 氏

国際カンファレンス設営企業、在日米国大使館、ICMG（コンサルティング会社）で日米企業の海外展開支援の後Japan Innovation Networkを立ち上げ大企業のイノベーションを支援し新規事業創出制度を設計、新規事業を立ち上げ。海外連携でChallenge Cupなどのグローバルイベントを企画。2019年に独立し起業家支援を行うbird in hand創業後、「エフェクチュエーション」や「リーンスタートアップ」を包括的に普及するため株式会社スケールアウト設立。趣味は旅すること。B級スポットやローカル飲食店巡りに飽くなき探求心。幼少期は英国に在住し英国海軍士官学校の寮で中学時代を送るなど異色の経験豊富。



Temple University, Asian Studies, BA
平成27・28年度、経産省「国際即戦力育成インターンシップ事業」ビジネスモデル研修講師兼、評価委員
XVC（ベンチャーキャピタル）パートナー、一般社団法人日本エフェクチュエーション協会理事